

登録コード	ASE03631	開講年度	2026					
授業科目	特別研究				担当教員	田中 沙智		
英文授業名	Special Research				副担当			
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	農学専攻食品生命科学分野2年次
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	研究課題に対する解決策を検討し、研究の展開を考えて研究計画を立案できるようになる。実験方法を修得し、研究を遂行できるようになる。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	収集したデータを分析し、整理し、考察できるようになる。研究結果を取りまとめ、プレゼンテーションを行うことができるようになる。		
授業の概要	食品免疫学に関する研究を行う。 修士論文作成のために、文献調査、実験、修士論文発表会での発表などを行う。 研究成果を取りまとめ、修士論文を作成する。							
Contents:	The aim of this course is to clarify the molecular mechanisms in immune regulation by food components. Students will learn a lot of skills such as planning of investigations and experimental techniques for study on immunology. Students will be required to produce a Master thesis and to present their research project.							
授業計画	研究課題に関する文献調査やデータ収集をする。 文献調査結果や収集したデータについて分析・整理し、考察する。 課題に対する解決策を検討し、研究の展開を考える。 研究計画に基づいて、研究を行う。 研究成果を取りまとめ、プレゼンテーションを行い、修士論文を作成する。							
成績評価の方法	研究課題への取り組み姿勢、修士論文発表会の発表内容と質疑応答、修士論文を総合的に評価します。 学会発表や論文発表も評価の対象とします。							
成績評価の基準	食品免疫学分野における研究活動を通して、免疫学の専門知識の習得、実験手法の習得、プレゼンテーション能力、問題解決能力、論理的思考能力が養われたかどうかを演習を通して評価します。 卓越している：研究成果を学術雑誌にて発表した かなり上にある：研究成果を学会で発表した やや上にある：研究成果についてよく理解し、修論発表会で問題なく発表した その水準にある：何とか実験をこなし、修論発表会で発表した							
事前事後学習の内容	事前学習：実験の前に仮説を立て、実験のプロトコールを正確に作成し、実験内容の全体を把握する。 事後学習：実験によって得られたデータを実験ノートやスライドにまとめ、考察を行う。							
履修上の注意	国際誌への論文投稿を最終目標に取り組むこと。							
質問,相談への対応	担当教員が随時、直接受け付けます。 研究室訪問および電話・メール相談に随時に対応します。 研究室：C103室 Tel：0265-77-1522 e-mail: tanakasa@shinshu-u.ac.jp							
学生へのメッセージ	国際誌への論文投稿を最終目標にし、向上心を持って研究に取り組んでください。							
【教科書】	必要に応じ、担当教員が提示します。							
【参考書】	必要に応じ、担当教員が提示します。							